

平成30年1月31日

研修報告書

松戸市議会議員

大塚 健児

研修：キッコーマンアリーナについて

日時：平成30年1月31日（月） 10時～11時半

場所：流山市キッコーマンアリーナ会議室

【研修報告】



（建替えの背景）

旧体育館が昭和51年竣工で40年を経過。新耐震基準を満たしておらず、避難所として危険であった。

（施設全体のポイント）

- ・つくばエクスプレス 流山セントラルパーク駅から徒歩7分の好立地。
- ・オランダの卓球チームのオリンピック・パラリンピックの練習会場の誘致
- ・プロバスケットボールの試合会場
- ・避難所として防災備蓄倉庫を備えるなど充実したもの

（工事の概要）

- ・鉄筋コンクリート造、鉄筋造、地上3階建
- ・延床面積 10648.04㎡
- ・本体工事費 約50億円
- ・着工 平成26年1月～平成28年12月

（施設の内容）

- ・メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、弓道場
- ・会議室、トレーニング室など

(施設見学をして感じたこと)

やはり何と言っても約50億円(高額)をかけて建設をしたということです。地方自治体が人口減少問題を抱えている中、国から約7億円の補助を受けたといいつつも、本当にアリーナが必要だったかと考えさせられます。加えて流山市運動公園として利用していた陸上競技場を失くして駐車場にしたということです。私はもちろんアリーナ建設について大賛成です。しかし、**財源の投入の仕方については問題視しなければなりません**。キックマンからはネーミングライツとして年間1200万円の補助を受けていると言っても焼け石に水のような気がします。理想としては民間企業と折半して建設する位の予算であれば、良いと思いますが、陸上競技場を失くしてまでもこのアリーナを建設することはなかなか理解に苦しみます。

(まとめ)

松戸市も、恐らく流山市も人口は微増傾向にあると思います。現状では数千人～1万人規模の人口増に対して、『〇〇市は人口増です!!』と声高らかに宣伝をしていますが、本当にそれでよいのでしょうか。国立社会保障・人口問題研究所によると、100年後は日本の人口が約半分の5000万人になると言われています。近い将来確実に人口減少社会が到来します。そうした中で、公共施設を再編について、人口減少しても絶対に必要であるという施設以外に必要性に欠けると言わざるを得ません。

先にも申した通り、これからの施設建設については、100%市単独予算ということは財政面からも避けるべきであり、民間企業との連携が必要不可欠であると改めて思いました。

以 上